

ダイアトニックコード構成のコード進行1

トニックの着地感を意識するのがポイント！※MP3は各コード進行×4回

【EX01】

C (I)	Dm (II m)	G (V)	C (I)
トニック			トニック

【EX02】

C (I)	Dm (II m)	Em (III m)	Dm (II m)
トニック			

【EX03】

C (I)	Em (III m)	Am (VI m)	Em (III m)
トニック			

【EX04】

C (I)	Em (III m)	Dm (II m)	G (V)
トニック			

【EX05】

C (I)	F (IV)	G (V)	C (I)
トニック			トニック

【EX06】

C (I)	F (IV)	Am (VI m)	G (V)
トニック			

【EX07】

C (I)	G (V)	Am (VI m)	F (IV)
トニック			

【EX08】

C (I)	G (V)	Am (VI m)	Em (III m)	F (IV)	C (I)	F (IV)	G (V)
トニック					トニック		

【EX09】

C (I)	G (V)	Dm (II m)	F (IV)
トニック			

ダイアトニックコード構成のコード進行2

トニックの着地感を意識するのがポイント！※MP3は各コード進行×4回

【EX10】

C (I)	Am (VI m)	F (IV)	G (V)
トニック			

【EX11】

C (I)	Am (VI m)	Dm (II m)	G (V)
トニック			

【EX12】

Dm (II m)	G (V)	C (I)	Am (VI m)
		トニック	

【EX13】

Dm (II m)	G (V)	Em (III m)	Am (VI m)
			(Cの代理トニック)

【EX14】

F (IV)	Em (III m)	Dm (II m)	C (I)
			トニック

【EX15】

F (IV)	G (V)	C (I)	Am (VI m)
		トニック	

【EX16】

F (IV)	G (V)	Em (III m)	Am (VI m)
			(Cの代理トニック)

【EX17】

Am (VI m)	G (V)	F (IV)	G (V)
(Cの代理トニック)			

【EX18】

Am (VI m)	Em (III m)	F (IV)	C (I)
			トニック

分数コードが入ったコード進行

分数コードのベースラインとトニックの着地感を意識するのがポイント！

※MP3は各コード進行×4回

【EX19】

C (I)	G/B (V/VII)	Am (VI _m)	G (V)
トニック	分数コード		

【EX20】

C (I)	G/B (V/VII)	Am (VI _m)	C/G (I/V)
トニック	分数コード		分数コード

【EX21】

F (IV)	C/E (I/III)	D _m (II _m)	C (I)
	分数コード		トニック

【EX22】

C (I)	G (V)	E/G [#] (III/V [#])	Am (VI _m)
トニック		分数コード	

ノンダイアトニックが入ったコード進行1

ノンダイアトニックの雰囲気とトニックの着地感を意識するのがポイント！

※MP3は各コード進行×4回

【EX23】

※ベーシックなD7(II7)でもOK

Am (VI m)	D ₉ (II 9)	G (V)	C (I)
	ノンダイアトニック		トニック

【EX24】

C (I)	E _m (III m)	F (IV)	D (II)	G (V)
トニック			ノンダイアトニック	

【EX25】

C (I)	E ₇ (III 7)	Am (VI m)	F (IV)
トニック	ノンダイアトニック		

【EX26】

F (IV)	G (V)	C (I)	E ₇ (III 7)
		トニック	ノンダイアトニック

【EX27】

F (IV)	C (I)	E ₇ (III 7)	Am (VI m)
	トニック	ノンダイアトニック	

【EX28】 ※【EX28】はマイナーコードが多く使われており、さらにIII mがIII 7になっているため本来であればマイナーダイアトニックコードで捉えるのが自然ですが、ここでは他のコード進行と同じくメジャーダイアトニックコードの度数で表示しています。

Am (VI m)	D _m (II m)	E ₇ (III 7)	Am (VI m)
(Cの代理トニック)		ノンダイアトニック	(Cの代理トニック)

【EX29】

C (I)	F (IV)	F _m (IV m)	C (I)
トニック		ノンダイアトニック	トニック

【EX30】

C (I)	Am (VI m)	F _m (IV m)	G (V)
トニック		ノンダイアトニック	

ノンダイアトニックが入ったコード進行2

ノンダイアトニックの雰囲気とトニックの着地感を意識するのがポイント！

※MP3は各コード進行×4回

【EX31】

C (I)	A7 (VI7)	Dm (II m)	G (V)
トニック	ノンダイアトニック		

【EX32】

C (I)	C7 (I 7)	F (IV)	G (V)
トニック	ノンダイアトニック		

【EX33】

C (I)	E7 (III 7)	Am (VI m)	C7 (I 7)
トニック	ノンダイアトニック		ノンダイアトニック

【EX34】 ※C△7は4和音構成のメジャーダイアトニックコード

C (I)	C△7 (I △7)	C7 (I 7)	F (IV)
トニック	※書き方はCM7 (I M7) でもOK	ノンダイアトニック	

【EX35】 ※Am7は4和音構成のメジャーダイアトニックコード

※ベーシックなD7(II 7)でもOK

Am (VI m)	Am△7 (VI m △7)	Am7 (VI m 7)	D9 (II 9)
(Cの代理トニック)	ノンダイアトニック		ノンダイアトニック

※書き方はAmM7 (VI m M7) でもOK

※Key=CでのC7・D7・E7・A7はセカンダリードミナントとも呼びます

Key=Cのダイアトニックコード

ド
↓

レ
↓

ミ
↓

ファ
↓

ソ
↓

ラ
↓

シ
↓

トニック	代理 サブドミナント	代理 トニック	サブドミナント	ドミナント	代理 トニック	代理 ドミナント
I Δ 7	II m 7	III m 7	IV Δ 7	V7	VI m 7	VII ^(b5) m 7
C	D m	E m	F	G	A m	B ^(b5) m
C Δ 7	D m 7	E m 7	F Δ 7	G7	A m 7	B ^(b5) m 7

多くの曲がダイアトニックコードの組み合わせで
できているが、こんなコードに変化することも！

(ノンダイアトニックコード)

C7

D7

E7

F m

A7